

JAPAN PRIZE NEWS

財団法人 国際科学技術財団
THE SCIENCE AND TECHNOLOGY
FOUNDATION OF JAPAN
〒107-0052 東京都港区赤坂二丁目 17 番 22 号
赤坂ツインタワー東館 13 階
Tel. 03 (5545) 0551 Fax. 03 (5545) 0554
E-Mail info@japanprize.jp
URL <http://www.japanprize.jp>

No. 40
2008年(平成20年)年5月



2008年(第24回)日本国際賞は 米国の3博士が受賞 天皇皇后両陛下をお迎えして授賞式



(財) 国際科学技術財団が、世界の科学技術の進歩に大きく寄与し、人類の平和と繁栄に著しく貢献した人々を顕彰する2008年(第24回)日本国際賞の授賞式が、4月23日(水)、東京の国立劇場で行われました。

今回の授賞対象分野は「情報通信の理論と技術」と「ゲノム・遺伝医学」の2分野で、それぞれ333件、381件、合計714件の推薦を受け、この中から3博士が受賞者に選ばれました。

「情報通信の理論と技術」分野ではインターネットのネットワーク設計概念と通信プロトコルの創生に多大な貢献をしたヴィントン・サーフ博士とロバート・カーン博士が共同で受賞しました。また「ゲノム・遺伝医学」分野では、遺伝医学の確立と発展に貢献したビクター・マキューズィック博士が受賞しました。

日本国際賞

「日本国際賞」(Japan Prize) は、全世界の科学技術者を対象とし、独創的・飛躍的な成果を挙げ、科学技術の進歩に大きく寄与し、もって人類の平和と繁栄に著しく貢献したと認められた人に与えられるものです。

受賞者は、国籍、職業、人種、性別等は問いませんが、生存者に限られます。

この賞の対象は、科学技術の全分野にわたりますが、科学技術の動向等を勘案して、毎年2つの分野を授賞対象分野として指定します。

本賞は、原則として各分野1件、1人に対して授与され、受賞者には、日本国際賞の賞状、賞牌及び賞金5,000万円(1分野に対し)が贈られます。

「情報通信の理論と技術」分野

授賞業績：インターネットのネットワーク設計概念と通信プロトコルの創成



ヴィントン・サーフ博士 (米国)

グーグル社副社長
兼チーフ・インターネット・エバンジェリスト



ロバート・カーン博士 (米国)

コーポレーション・フォー・ナショナル・
リサーチ・イニシアチブ会長、CEO、社長

「ゲノム・遺伝医学」分野

授賞業績：遺伝医学の確立と発展



ビクター・マキューズィック博士 (米国)

ジョンズホプキンス大学
医学部遺伝医学部門教授

授賞式

授賞式は天皇皇后両陛下をお迎えし、河野洋平衆議院議長、江田五月参議院議長、島田仁郎最高裁判所長官、岸田文雄内閣府特命担当大臣（科学技術政策）ら政・官界代表の他に、在日外国大使並びに財界、著名な学者・研究者、言論界代表等約 1,000 名が出席して行われました。

式典は東京藝術大学音楽学部学生オーケストラ（指揮：矢崎彦太郎）が演奏する「日本国際賞式典序曲－Overture Japan」（三木稔作曲）で開会しました。

吉川弘之理事長の開会挨拶、熊谷信昭審査委員長による審査結果報告および受賞者の紹介の後、「情報通信の理論と技術」末松安晴部会長による贈賞理由の説明、また「ゲノム・遺伝医学」松原謙一部会長による贈賞理由の説明の後、3 博士に日本国際賞の賞状、賞牌および副賞 5,000 万円（1 分野に対し）が伊藤正男会長よりそれぞれ贈られました。受賞者挨拶でサーフ博士は「イン



ターネットという肥沃なデジタルの土壌から生まれた成果によって、未来の日本国際賞を受賞する人が現れると、私は心から信じております。」と述べました。共同受賞のカーン博士は「こうした仕事が認められることはインターネットの重要性、さらに一般的には、世界をより住みやすい場所にするうえで科学技術の役割を際立たせる

るものです。」と述べました。また、マキューズィック博士は「本賞の受賞は臨床医として光栄のいたりです。つねに私を導きインスピレーションを与えてくれた患者の皆さんともこの賞を分かち合いたいと思います。」と受賞の喜びを表されました。

受賞者の挨拶の後、天皇陛下からお言葉を賜り、続いて三権を代表して河野衆議院議長が祝辞を述べられました。その後、受賞者の皆さんは天皇皇后両陛下とともに客席で記念演奏をお楽しみになり、授賞式は閉会となりました。

天皇陛下のおことば

第24回日本国際賞の授賞式に当たり、「情報通信の理論と技術」の分野において、ヴィントン・サーフ博士とロバート・カーン博士が、「ゲノム・遺伝医学」の分野において、ビクター・マキューズィック博士が、それぞれ受賞されたことを心からお祝いいたします。

1970年代の初めごろまでは、電話も無線通信もそれぞれ固有のネットワークのみを通じて伝送されており、異なるネットワークの間をつなげることはできませんでした。この問題を克服し、異なるネットワーク間のデータ送受信を可能にするため、サーフ博士とカーン博士はTCPと名付けた通信プロトコルを開発され、1974年に共著の論文で発表されました。この通信プロトコルはその後更に改良が加えられ、現在インターネットで用いられているTCP/IPという通信プロトコルに発展しました。人類の生活様式を一変させた今日のネットワーク社会は、



両博士の先駆的な努力により実現したものです。

マキューズィック博士は、病気と遺伝子の関係を研究する遺伝医学を創設され、半世紀以上の長期にわたり研究を重ねられました。その成果は体系的にまとめられ、世界の臨床医の必読の書といわれています。また、博士は、国際ヒトゲノム解析機構創立にも携われ、代表責任者の任をとられるなど、ヒトゲノム解析の先導者となり、遺伝子情報を活用する医学の発展に大きく寄与されました。

3博士のご研究は情報技術と医学のそれぞれの分野で未踏の領域を拓(ひら)いたものであり、その成果は人々の生活に多くの便宜を与えました。

科学技術が今後とも国境を越え、人々の協力によって発展し、人類の幸せに資することを願い、式典に寄せる言葉といたします。



天皇皇后両陛下御着



吉川理事長 主催者挨拶



熊谷審査委員長 審査結果報告



末松部会長 贈賞理由説明



松原部会長 贈賞理由説明



河野衆議院議長 祝辞



記念演奏に臨まれる両陛下と受賞者



記念演奏

祝 宴

授賞式の同夜、東京・ホテルニューオータニ「芙蓉の間」において天皇皇后両陛下ご臨席のもと、政府代表、在日外国大使および各界から約350名を招いて、盛大に祝宴が催されました。

伊藤会長の挨拶により開宴され、天皇陛下から受賞者の栄誉をたたえて乾杯のご発声を賜りました。

食事と歓談ののち、三権を代表して江田参議院議長から祝辞が述べられました。最後に各受賞者から謝辞が述べられ華やかな宴も和やかな雰囲気うちに終宴となりました。



天皇皇后両陛下下御着



伊藤会長 開会の辞



江田参議院議長 祝辞



サーフ博士 謝辞



カーン博士 謝辞



マキューズィック博士 謝辞

2009年(第25回) 日本国際賞

2009年(第25回)日本国際賞授賞対象分野は「自然と共生する持続可能な技術社会形成」および「医学・工学の融合における疾患への技術の展開」の2分野です。

現在、当財団に世界各国の有識者から受賞候補者の推薦書が多数寄せられています。財団に設置された2009年(第25回)日本国際賞審査委員会の審査を経たのち、受賞者の発表は来年1月、授賞式は同年4月を予定しています。

領域Ⅰ 環境・社会基盤

「自然と共生する持続可能な技術社会形成」

地球環境の制約から、エネルギー・資源多消費の社会基盤で成り立ってきた近代技術社会を見直す時期に来ています。人間としての基本的要求を満たし、安全安心を確保し、人間性をはぐくむ、省エネルギー・低炭素排出・自然と共生する持続可能な社会形成に向けて、自然と人間活動に関する科学の知見、進展著しい情報科学、人間社会に関する洞察などあらゆる知見を総合しての社会転換・社会基盤の作り変えが求められています。こうした転換の必要性を喚起し、新たな技術社会のヴィジョンを示し、社会基盤を形成し、また転換のため鍵となる技術開発を行い、さらには知識や社会意見の集約普及を推進するなどのいづれかに大きく貢献した業績を対象とします。

領域Ⅱ 健康・医療(技術)

「医学・工学の融合における疾患への技術の展開」

近年、医学と工学及びそれに関連する異分野との連携や融合によって、医療技術の進歩・発展はめざましいものがあります。医学や医療分野における異分野との連携、そして、更に発展した融合によって、疾患の予防や診断そして治療まで可能になってきています。この融合は高度な可視化技術にとどまらず、創薬、ドラッグ・デリバリー・システム、テレメディシン、再生医療、簡易化診断技術などの分野にまで及び、この結果医療技術の著しい発展がもたらされました。

2009年の本賞は医学・工学の融合によって健康や疾患に対しての新しい技術の開発と展開に貢献した業績を対象とします。

受賞者の思い出のアルバム

サーフ博士



▲博士はコネチカット州ニューヘブーンで生まれました。お母さまのミュリエルさんと幸せそうなお二人です。

▼ シグリッド夫人はインテリアデザイナー兼翻訳家としてもご活躍



▲ 6年間勤めた高等研究計画局をやめ、MCIに入社。商用電子メールを作り上げました。

▼ ホワイトハウスの新年パーティーに夫人と招かれました。



カーン博士



▲博士のお生まれはニューヨーク州のブルックリン。この顔をご覧下さい。きかん気が表情に出ていますね。

▼ ARPANET でネットワークのシステム設計全般を担当しました。(一番右が博士)



▲博士はパトリス・ライオンズさんと知り合い、結婚しました。

▼ 当時のクリントン大統領から授与されたのは「アメリカ国家技術賞」。サーフ博士と一緒に受賞です。



マキューズィック博士



▲博士は一卵性双生児のお一人としてメイン州の酪農場で生まれました。

▼ 子供達、ケネス4歳、キャロル14歳、ビクター・ウェイン3歳との懐かしい思い出です。



▲博士は遺伝医学にかかわるあらゆる研究を、患者とじかに接しながら進めていきました。

▼ 夫人はリウマチ専門医が本職ですが、遺伝学にも通じていて、夫である博士の60年にわたる、すばらしいパートナーです。



JAPAN PRIZE

日本国際賞週間

当財団では、4月21日（月）から26日（土）までを「日本国際賞週間」と称し、各種行事を行いました。



21日 受賞者歓迎レセプション



22日 日本学士院表敬訪問



21日 受賞者合同記者会見



22日 受賞記念講演会



24日 内閣総理大臣表敬訪問



21日 岸田内閣府特命担当大臣
(科学技術政策) 主催意見交換会



22日 学術懇談会



26日 京都の休日

やさしい科学技術セミナー

本セミナーは、私たちの生活に関わりのある、いろいろな分野の先端技術等について、その分野の専門家を講師にお招きして、わかりやすく解説していただくもので、学生から一般の方々を対象としております。応募者多数の場合に限り、抽選とさせていただきます。結果は発送をもって代えさせていただきます。

参加費無料

開催日時	定員	場所	テーマ	講師
7月22日(火) 18:00-19:30	144	泉ガーデンタワー7階 (東京都港区)	人工筋肉について(仮)	平井利博先生 信州大学繊維学部素材開発化学科教授
8月5日(火) 13:30-14:30 講演 14:40-15:50 見学・展示	80	東京工業大学 大岡山キャンパス百年記念館3階 (東京都目黒区)	電磁波ってなんだろう? ~光と電波~	平野拓一先生 東京工業大学理工学研究科助教
9月 開催日時未定		群馬大学 詳細未定 (群馬県前橋市)	実験動物を使って、遺伝子の働きと病気の関係を探る	佐藤隆史先生 群馬大学生体調節研究所細胞構造分野助教
9月13日(土) 13:30-14:30 講演 14:40-15:30 施設見学	30	徳島文理大学 香川薬学部棟1階会議室 (香川県さぬき市)	DNA化学反応 ~がん・老化のきっかけ~	喜納克仁先生 徳島文理大学香川薬学部講師
11月8日(土) 13:00-16:00 (1部講演 2部体験)	100	東京医療保健大学 世田谷キャンパス A301教室 (東京都世田谷区)	これからの医療・福祉・健康支援のための 科学技術 ~体験型講座~	山下和彦先生 東京医療保健大学医療保健学部准教授
12月未定 18:00-19:30	144	泉ガーデンタワー7階 (東京都港区)	未定	未定

お申し込み方法 | ホームページ (www.japanprize.jp) から、または FAX にて希望される講演月日を明記の上、住所、氏名、年齢、電話 (FAX) 番号を記入し、当財団までお申し込みください。

会場所在地 | 泉ガーデンタワー 東京都港区六本木 1-6-1 | 徳島文理大学 香川県さぬき市志度 1314-1
東京工業大学 東京都目黒区大岡山 2-12-1 | 東京医療保健大学 東京都世田谷区世田谷 3-11-3
群馬大学 群馬県前橋市昭和町 3-39-15